

落合平也郎星彦松田忠七吉田市兵衛我もと走り
り元来落人の事なれどもをいひた散くす切ちうに夜小
松山城守湯村和泉守安部土佐守安部刑部是等は
立石寺へ乞ふに落人の事いふ由を聞きしも急ぎ彼等
取て返り山形勢を人も遁さしと多く呼りたれに彼僧
は言ふ事よ力を以て日頃強力の輩へ有る教のかゝる
其味方中へ加り散く我ども右共余人の味方共
共に討れ長所又市三浦兵衛大沼八郎の三人漸く
逃げ延び山形さして引退き山寺に土民共中々
此山形へ逃へるを定めて突撃を志すべし早く岩窟
に逃ひしむと詰りし氣山岩穴へ君ひ隠れり以事常

右三人の若き義光へ中々それ則時自を移し大勢山
寺へ趣き愛徳も取れりも落人更に見へり是に
よつて山寺に土民共中々定て落人は多く君を居
るしあゝ取れ出さしとせぬれに土民共中松は急ぎ
落人一人も見へに詰りし事刑へ逃れしゆとり山形
勢を思ひ重て取れぬき急ぎなく山形へ降りり
其先き天童の落人九人愛徳おきて打死し少松山城守
湯村和泉守阿部土佐守安部刑部と東阿部坊守阿
部坊の六人逃れ落人共其外の落人八王寺別當落